

2020 年度実施概要

学校名

浜田市立長浜小学校

採択活動名

Nagahama マリン郷育

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1, すなやつちとなかよし	1	図工
2, いろいろなふね	1	国語
3, どきどきわくわく町探検	2	生活
4, 遠足の絵を描こう	2	図工
5, 土でかく	3	図工
6, 環境について調べよう	4	総合的な学習
7, 海を知る	5	総合的な学習
8, 豊々浦見学	6	理科

取り組みの概要

今年度は本格的に「郷育」と銘打っての海洋教育は4年目に入る。今年度も、子どもたちのふるさとに対する意識の変化を検証していけるような実施内容を考える取り組みを行っているところである。感染症予防のため、実施出来なかった活動も多かったが、学校の目の前にある海をより身近に感じ、ふるさと浜田について考えるきっかけとなった。

●海に親しむ「ふるさとの海に親しみ、進んでかかわろうとする。」

すなやつちとなかよし (1年 図工)

6月に、熱田海岸で図工の造形遊びを行った。それぞれのグループで海岸の砂を使い、お城や大きな山を作った。お城や山を作る途中、砂をかためるために海水をくみに行った。海水の量によって砂の固さが変わるので、海水と砂の量を何度も調整しながら活動する児童の姿が見られた。

●海を知る「ふるさとの海の自然や、海とのつながりを調べようとする。」

熱田ビーチの調査に出かけよう (4年 総合的な学習)

自分たちの近くにある熱田海岸にはどんな問題が起こっているか調査に出かけた。熱田海岸は子ども達にとって、なじみのある海である。家族との思い出やこれまでの学習でも何度も訪れている。楽しいイメージのある海であったが、海には、たくさんのゴミが落ちており、海外から漂着したのものもあった。熱田海岸の調査の後、私たちの周りではどのような環境問題がおこっているのかを話し合った。そして、海をはじめとする環境問題について調べることにした。

熱田海岸のゴミを調べよう (5年 総合的な学習)

熱田海岸でゴミ拾いを行った。学校へ戻ってから、どんなゴミがどのくらいあるのかを調べるため、ゴミの種類ごとに分別する活動を行った。実際にごみ拾いをする体験を通して、海洋ゴミ問題に関心をもつきっかけとなった。

豊ヶ浦見学 (6年 理科)

理科の学習で、「地震による大地の変化」と「地層・化石」について学び、豊ヶ浦の見学を通して学習した内容を深めることができた。豊ヶ浦の地層は1600万年前のもので、当時の貝が化石として地層にうまっており、それらを探して見つけた。化石がたくさんあることを、体験を通して学んだ。また、石見文化振興センターにも行き、豊ヶ浦の資料や桑田先生が集められている岩石を手にとり、観察することができた。学校では体験することのできない、貴重な体験をすることができた。

●海を利用する「海と関わりの深いふるさとの良さを学ぼうとする。」**水産技術センターに行こう** (5年 総合的な学習)

島根県水産技術センターの見学に行った。研修室で浜田の水産業や漁法などについて説明を受けた後、標本やパネル展示を見学した。日頃見ることのない標本をくわしく見ることで、海の研究のために標本を作製していることなどを知ることができた。

漁港に行ってみよう (5年 社会科・総合的な学習)

浜田市水産振興課の協力で漁港の見学に行った。水揚げの状況についての説明を聞き、浜田漁港の大切さを知った。

また、仲買市場を見学したり、浜田の水産業について質問したりし、今後の水産業の課題について考える機会となった。

活動中の写真

